

番号	会名称	審議会委員からの意見	対応方針	計画修正案			
				区分	ページ・行章・節	旧(修正提案箇所)	新(修正案)
1	審議会(第3回)	町民アンケートの結果が、今回の素案にどのように反映されているか。	課題等がより明確に分かるように、計画内に町民アンケート結果の抜粋を記載する。	はじめに	-	-	(2)長沼町の現状の後に(3)町民の声としてアンケート調査結果の抜粋を追加。
2	福祉部会(第1回)	「2.ひとと自然が共生し、美しい景観をつくる・保つまちづくり」 ・P60(5)緑化・花いっぱい活動の促進 2)緑と光にあふれるまちづくりの推進 「光」に対する施策がない。「光」の部分も具体的な施策を入れたほうが良い。	当該項目は主に「緑」についての項目であり、「光」に相当する街路灯の整備促進は別の項で記載されていることから、ここでは「光」の記述を削除する。	前期基本計画	P61 2.(5) 現況と課題 2行目	今後とも「緑と光にあふれる美しいまちづくり」を町民の主体的参加を促しながら、積極的に進める必要があります。	今後とも「緑と光にあふれる美しいまちづくり」を町民の主体的参加を促しながら、積極的に進める必要があります。
				前期基本計画	P60 2.(5)2) 施策項目	2) 緑と光にあふれるまちづくりの推進	緑と光にあふれるまちづくりの推進
3	産業部会(第1回)	ボールパーク、道央圏連絡道路、道の駅のホテルの関係についてもう少し盛り込めるか検討してほしい。また、企業誘致の関係も現段階で盛り込めるようなものがあれば検討してはどうか。	検討の結果、計画に追記。 ボールパーク:P91 道の駅ホテル:P91	前期基本計画	P91(4)1) 施策の内容	-	・令和4年春にオープン予定である「道の駅隣接のホテル」と「ながめま温泉」を滞在型観光拠点として、民間資金を活用した中での関連施設整備や体験メニュー整備を進めます。
				前期基本計画	P91(4)2) 施策の内容	・観光客の増加を次図るため、さっぽろ連携中枢都市圏での広域連携によるPR活動を推進します。	・観光客の増加を図るため、さっぽろ連携中枢都市圏での「やボールパークを絡めた広域連携によるPR活動を推進します。
4	教育部会(第1回)	「タンチョウも住めるまちづくり」について、地域住民や農業者に影響を及ぼさないよう、記載方法を慎重に検討すべき。	総合振興計画内に記載されている「タンチョウも住めるまちづくり」の項目について、記載方法を慎重に検討し修正する。	基本構想	P20 2. 環境の保全 3行目～4 行目	また、近年町内各所で飛来が確認されているタンチョウが安心して住める環境をつくるため、舞鶴遊水地とその周辺を含めた環境保全を推進し、タンチョウをシンボルとした自然との共生を目指します。	また、近年町内各所で飛来が確認されているタンチョウが安心して住める環境をつくるため、舞鶴遊水地とその周辺を含めた環境保全を推進し、タンチョウをシンボルとした自然との共生を目指し、 努めます。
				前期基本計画	P55(1) 現況と課題 6行目～8 行目	2020年(令和2年)5月には、空知管内では100年以上振りとなるタンチョウの繁殖が舞鶴遊水地で確認されたことから、遊水地周辺を含めた環境保全を推進するとともに、タンチョウをシンボルとした自然との共生を目指します。	2020年(令和2年)5月には、空知管内では100年以上振りとなるタンチョウの繁殖が舞鶴遊水地で確認されたことから、遊水地周辺を含めた環境保全を推進するとともに、 ひと「も」タンチョウ「も」快適に暮らせるまちづくりを目指し、タンチョウをシンボルとした自然との共生を目指し、努めます。
				前期基本計画	P55(1)1) 施策の内容	・「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」「長沼町タンチョウとの共生検討会議」等の関係機関・各種団体との連携を強化し、タンチョウをシンボルとした自然との共生を推進します。また、舞鶴遊水地周辺一帯を自然観察・環境学習拠点として活用することを通じ、環境教育の促進及び地域振興を図ります。	・「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」「長沼町タンチョウとの共生検討会議」等の関係機関・各種団体との連携を強化し、タンチョウをシンボルとした自然との共生を 推進し、努めます。 ・ また、舞鶴遊水地周辺一帯を自然観察・環境学習拠点として活用することを通じ、環境教育の促進及び地域振興を図ります。
5	教育部会(第2回)	第1回教育部会で説明があった計画修正案の中で、「ひととタンチョウも快適に暮らせるまちづくりを目指し…」という文言があるが、タンチョウが快適に暮らすという表現には違和感があるので、安心して暮らせる、等に文言修正してはどうか。	ご指摘の通り修正する。	前期基本計画	P55(1) 現況と課題 6行目～8 行目	2020年(令和2年)5月には、空知管内では100年以上振りとなるタンチョウの繁殖が舞鶴遊水地で確認されたことから、遊水地周辺を含めた環境保全を推進するとともに、ひと「も」タンチョウ「も」 快適に安心して暮らせるまちづくり を目指し、タンチョウをシンボルとした自然との共生に努めます。	2020年(令和2年)5月には、空知管内では100年以上振りとなるタンチョウの繁殖が舞鶴遊水地で確認されたことから、遊水地周辺を含めた環境保全を推進するとともに、ひと「も」タンチョウ「も」 快適に安心して暮らせるまちづくり を目指し、タンチョウをシンボルとした自然との共生に努めます。
6	教育部会(第2回)	町民アンケート調査結果の抜粋を計画内に記載することだが、アンケート調査結果一式を資料編として総合振興計画に添付してはどうか。	ご意見のとおり資料編として編纂する。	資料編	-	-	巻末に資料編として、第6期長沼町総合振興計画策定に係る町民アンケート調査結果を添付。